

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

平成 26 年度事業・活動報告

<組織>

1. 三役会、理事会、総会の実施

下記のとおり、定期総会、理事会、三役会を開催した。

日 程	会 議 名
2014 年	
5 月 16 日	第 1 回理事会（書面理事会）
6 月 5 日 10:00～12:00	第 2 回理事会／東京セミナー学院
13:00～16:30	定期総会／東京セミナー学院
9 月 22 日	臨時理事会（書面理事会）
10 月 30 日 13:00～16:00	第 1 回三役会／東京都障害者福祉会館
10 月 31 日 10:30～14:00	第 3 回理事会／東京都障害者福祉会館
12 月 2 日 10:00～12:20	第 2 回三役会／当会事務所
2015 年	
1 月 7 日 10:00～12:00	第 3 回三役会／東京都障害者福祉会館
2 月 4 日 10:00～12:20	第 4 回三役会／東京都障害者福祉会館
3 月 4 日 10:00～15:30	第 5 回三役会／東京都障害者福祉会館
3 月 20 日 13:00～16:00	第 4 回理事会／東京都障害者福祉会館
3 月 31 日 10:00～12:00	第 6 回三役会／当会事務所

2. 組織強化・拡大に向けた取り組み

(1) 賛助会員の増加に向けた取り組み

当会の機関誌「月刊みんなねっと」は、全国の家族会の連合会機関誌として家族会や賛助会員となった個々の家族をつなぎ、関係者にも賛助会費納入の特典として配布されている。その意義は、精神障害がいがある人やその家族の情報を含む精神保健福祉についての情報を伝える啓発と、当会の組織維持・運営・活動のための財源の獲得にある。

本年度は、発足 8 年目を迎え「月刊みんなねっと」誌の内容について議論が行われた。家族会の運動面の記事を増やすなどの目的で、編集委員の一部交代がなされ編集会議のあり方が見直された。

賛助会員数では、平成 26 年 3 月末で 11,413 人（内訳は、個人賛助会員 2,068 人、団

体賛助会員 9,345 人)。翌年の平成 27 年 3 月末の会員数は、12,567 人（内訳は、個人賛助会員 3,317 人、団体賛助会員 9,250 人）となっている。1 年間で 1154 人増加であった。また、平成 26 年度新規入会数は、個人会員が 671 名、団体会員が 459 名であった。

今後の編集において、いっそう社会に求められ役に立つ内容を工夫し、賛助会員数をできるだけ増やさなければならない。

《参考》家族以外の賛助会員としては、保健所、市役所、病院、クリニック、大学・大学図書館・専門学校、自治体図書館が加入している。

(2) ポスターによる宣伝

今年度は、年度末に初めてポスターを作成し、医療機関など関係機関に配布、掲示した。ポスターを見て入会した人がいた。

<精神保健医療福祉改革に関する運動>

1. 各種会議への参加

長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会、社会保障審議会障害者部会、障害者政策委員会、労働政策審議会障害者雇用分科会、障害者職業能力開発推進会議、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、同機構アビリンピック委員会、全国社会福祉協議会、JDF 幹事会などの会議や政党などのヒアリングの場で、精神障がい者とその家族の問題、及びその解決にむけた要望を伝え、現状の改善を図った。

担当者名簿	
長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会	良田かおり理事
社会保障審議会障害者部会	本條義和理事長
障害者政策委員会	川崎洋子顧問
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員会評議員・アビリンピック委員会	川崎洋子顧問
労働政策審議会障害者雇用分科会	堤 年春理事
障害者職業能力開発推進会議	堤 年春理事
全国社会福祉協議会・地域福祉権利擁護に関する検討委員会	飯塚壽美理事
高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会	川崎洋子顧問

2. 「JR など交通運賃割引推進プロジェクトチーム」立ち上げ

今年度は、障がい者福祉制度での障がい種別間のサービス格差是正活動として「JR など交通運賃割引推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、JR 等の公共交通機関の割引制度の改正のために、実態調査を行った。また、関係官庁と全国の主要な事業者に、精神障がい者への公共交通運賃割引制度の適用を求める要望書を提出した。

「JR など交通運賃割引推進プロジェクトチーム」の構成員には家族会役員が就任し、委員長に奥田和男氏（奈良県連所属）、事務局長には堀場洋二氏（愛知県連所属）が選任された。

3. イギリスの家族支援（メリデンファミリーワーク）の日本導入

「みんなねっとフォーラム2014」を開催した。3月6日（金）、会場は津田ホール。参加者は約350人。（後述の《研修・相談支援事業》に詳報掲載）【日本財団助成事業】

平成27年に5名の研修生をメリデンに派遣するために、「家族支援プロジェクト委員会」を編成して募集と選考を行った。構成員は、松澤 勝（委員長）、佐藤 純（京都ノートルダム女子大）、伊藤千尋（淑徳大）、本條義和・川崎洋子・齋藤 望・鈴木 誠一であった。

4. 「病棟転換型居住系施設について考える会」とともに反対意見表明

6月26日、日比谷野外音楽堂で開かれた集会に、各都道府県精神障害者家族会連合会から10人の代表が参加し、当会の松澤副理事長とともに反対の意思表示を行った。また、12月15日の厚生労働省との話し合いにも、当会から松澤副理事長と野村事務局長が参加して意見を述べた。

<情報・啓発資料の作成・発行>

1. 「社会資源ハンドブック」の改定版の作成【日本財団助成事業】

平成21年に作成したものを改訂し、事務局員とハンドブック編集委員（川崎洋子、良田かおり、谷安正、佐藤智子）で構成される「編集委員会」を中心に作成、発行した。（43項目、178頁、執筆者32名）

5000部発行し、都道府県連や単位家族会、病院、行政など関係機関に配布した。

2. みんなねっと通信の発行

今年度は、2回、発行された。内容は、新職員の紹介等。

3. webサイトの運営

多くの市民が精神疾患および障がいについての知識・情報を得、家族会活動への理解が深まるよう、情報提供の媒体としてホームページを作成し、発信した。

<研修・相談支援事業>

1. 全国大会の開催

各地の家族が一堂に会し、相互に情報交換や交流のできる場である全国大会を石川県金沢市で開催した。

日 時	2014年10月16日(木)～17日(金)
場 所	金沢歌劇座 (石川県金沢市下本多町6番丁27番地)
テーマ	「笑って 語って つながって」～今こそめざそう！ 共に生きる社会を～
主 催	公益社団法人 全国精神保健福祉会 石川県精神障害者家族連合会
参加者数	954名

2. ブロック精神保健福祉研修会の開催

各地域の家族会が相互に学びあい、主体的に家族会活動を実践していくために、全国を8ブロックに分けたブロック研修会を開催した。詳細は以下のとおりである。

(1) 北海道・東北ブロック青森大会

- 日 時：2014年9月1日(月)
- 場 所：ねぶたの家
- テーマ：「みんなで手をつなぎ 一つ ひとつ 前に進んでいこう」
～いま悩んでいること、いま困っていることを～

(2) 関東ブロック神奈川大会

- 日 時：2014年11月28日(金)
- 場 所：はまぎんホール ヴィアマーレ
- テーマ：地域で暮らすために 今必要なこと
本人・家族のリカバリーと支え合う社会について、学び、語り合おう

(3) 北信越ブロック新潟大会

全国大会開催のためなし

(4) 甲州・東海ブロック愛知大会

- 日 時：2014年11月13日(木)～14日(金)
- 場 所：愛知県蒲郡市民会館
- テーマ：精神の障がいを持っていても地域で安心して暮らしたい
～地域生活をささえる医療、アウトリーチ、そして当事者の力～

(5) 近畿ブロック奈良大会

- 日 時：2014年11月16日(日)
- 場 所：奈良県社会福祉総合センター
- テーマ：「訪問による当事者と家族への支援はどうすれば実現できるのか」

(6) 中国ブロック徳島大会

- 日 時：2014年9月25日(木)～26日(金)

- 場 所：島根県民会館
- テーマ：暮らしやすい地域社会をめざして
(7) 四国ブロック
- 日 時：2015年2月19日(木)～20日(金)
- 場 所：徳島県 ホテル千秋閣
- テーマ：家族による支援から社会支援へ
～社会支援の実践に向けて～
(8) 九州・沖縄ブロック鹿児島大会
- 日 時：2015年2月12日(木)～13日(金)
- 場 所：鹿児島市民文化ホール・サンロイヤルホテル
- テーマ：語りあい 学びあい 支えあい そして働きかけます

3. 精神障がい者家族のピアサポート相談研修会の開催

今年度は10都道府県連を開催予定し申請していたが、結果的に18都道府県連が本研修会を開催することとなった。各連合会には助成金が16万5千円ずつ配布された。本事業は年々実施数が増えており、毎年連続で開催する都道府県連もあり、より高度な内容の研修会を開催している。このことにより、各地で家族相談員の養成に力を入れ始めることが少しずつ可能となり、本研修会を通して、新しい家族会員の獲得や家族会の活性化へ大きな期待が持てると考えられる。今後も相談経験を重ねながら併せて研修をおこない、家族相談員一人ひとりがスキルアップしていくことが必要である。 【日本財団助成事業】

	連合会	日時	会場	人数	テーマ
1	栃木県連	9月19日	小山市文化センター 大ホール	506	統合失調症がやってきた ～ピアとりカバリーを考える～
2	岡山県連	1月31日	きらめきプラザ 401会議室	32 49	①コミュニケーションの工夫 ②認知行動療法を使ってみよう
3	長野県連	11月7日	安曇野市堀金公民館 講堂	40	家族相談支援について
4	香川県連	10月22日 23日 30日	香川県精神障がい者 家族支援のための交流スペース	38	精神疾患と薬の関係 家族で支えるピアカウンセリング グループワーク
5	福岡県連	1月23日	福岡市「あいいん」 7階研修室	55	家族相談の意義とあり方について
6	茨城県連	2月17日	茨城県健康プラザ	40	相談を受けた困難事例の対応

7	広島県連	11月22日	県立広島大学 広島キャンパス	AM54 PM35	助け合える家族になろうよ
8	大分県連	10月25日	大分県総合社会福祉会館	44	ピアサポート相談の意義とあり方について
9	山梨県連	11月30日	山梨県立大学 飯田キャンパス 大講堂	162	家族による家族相談活動と 親亡き後を共に考える
10	富山県連	12月2日	富山県総合福祉会館 研修室 704	32	家族相談と求められる家族支援
11	大家連 (大阪府)	11月5日 12月3日	アネックスパル法円坂 第2会議室	26 29	電話相談を通じての事例に基づく検討会 家族が家族の相談に応じることの意義
12	埼玉県連	9月21日 3月4日	①さいたま共済会館 6階大ホール ②埼玉県障害者交流センター ホール	121 45	①精神科医として、そして家族として ②家族が受ける暴力と対応策を考える
13	東京都連	<東> 9月27日 <西> 11月20日 3月28日 <多摩> 3月7日	曳舟文化センター ねっこカフェ カフェ/ボナフェ 府中心れあい会館	15 15 14 16	事例検討
14	京家連 (京都府)	3月19日	京都市左京ふれあい文化会館	23	家族による家族相談のコツ ロールプレイ
15	長崎県連	1月27日	長崎県大村市 コミュニティセンター 3階会議室	37	家族の相互支援 事例検討会
16	熊本県連	2月27日	熊本きぼう福祉センター	28	家族が家族の相談を受ける意味について
17	神奈川県連	2月21日	第1回、第2回同日開催 かながわ県民センター 1501 会議室	23 22	相談を受ける際の必要な知識 ロールプレイ
18	愛知県連	2月10日 ・11日 (1泊研修)	師崎荘	63	孤立しがちな家族をなくし、家族会の 活性化を目指そう

4. 精神保健福祉フォーラムの開催

今年度の精神保健福祉フォーラムのシンポジウムでは、昨年度に引き続き「英国メリデン版訪問家族支援を日本で実現するために」がテーマとなり、基調講演では「精神障害者の住まいを考える～英国の居住支援から学ぶ～」がテーマとされた。メリデンに当会から研修生5名を派遣する計画が進められている中での開催であった。参加者は、350名、「引き続き家族支援に焦点をあてたものを開催してほしい」と好評であった。

【日本財団助成事業】

●フォーラム名称：みんなねっとフォーラム 2014

●テーマ：本人と家族が安心して生活していくためには
～居住支援と訪問支援から考える～

【基調講演】テーマ：精神障害者の住まいを考える～英国の居住支援から学ぶ～

講師：上野勝代氏（神戸女子大教授）

【シンポジウム】テーマ：英国メリデン版訪問家族支援を日本で実現するために

シンポジスト：上久保真理子氏（ぴあクリニック 精神保健福祉士 浜松市）、丸山美恵氏（NPO 法人世田谷さくら会）、宗未来氏（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター 精神科医）

コーディネーター：佐藤 純氏（京都ノートルダム女子大学 准教授）

●開催日時：2015年3月6日(金) 10:00~16:00

●開催場所：津田ホール(東京都渋谷区千駄ヶ谷)

●参加者数：約350名

5. 相談支援活動

全国の家族および本人を中心とした支援として、電話相談を実施した。

●相談日：月・水・金 10:00~15:00（非常勤相談員を配置）

●相談実績：710件/年

以上

平成26年度 貸借対照表

公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会

[税込] (単位: 円)
平成26年度2015年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	504,689
現 金	274,647	前 受 金	13,962,000
普通 預金	36,463,398	従業員預かり	33,185
現金・預金 計	36,738,045	源泉預かり金	113,106
(売上債権)		流動負債 計	14,612,980
未 収 金	4,112,400	負債の部合計	14,612,980
売上債権 計	4,112,400	正 味 財 産 の 部	
(その他流動資産)		【正味財産】	
前払 費用	274,541	正味 財産	27,812,006
(その他流動資産) 合計	0	(うち当期正味財産増加額)	2,945,915
流動資産合計	41,124,986	正味財産 計	27,812,006
【固定資産】		正味財産の部合計	27,812,006
(有形固定資産)			
固定資産取得支出	1,300,000		
有形固定資産 計	1,300,000		
固定資産合計	1,300,000		
資産の部合計	42,424,986	負債・正味財産の部合計	42,424,986

平成26年度 正味財産増減計算書（損益計算書）

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
全事業所 平成26年度

[税込] (単位: 円)

自 2014年 4月 1日 至 2015年 3月31日

《経常収支の部》		
〔経常収支の部〕		
【経常収入】		
助成金収入	6,500,000	
正会員会費収入	940,000	
賛助会員会費収入	36,944,400	
寄付金収入	12,438,880	
雑収入	1,510,042	
受取利息収入	3,242	
経常収入 計		58,336,564
【事業費】		
機関誌発行	11,207,043	
啓発小冊子	3,521,314	
ホームページ作成	326,355	
全国大会	8,161,000	
ブロック研修	1,618,000	
家族リーダー	2,920,799	
精神保健福祉フォーラム	1,752,625	
給与(事業)	5,951,967	
アルバイト給料(事業)	2,801,157	
法定福利費(事業)	1,118,002	
福利厚生費	47,690	
旅費交通費	71,030	
会議費	160,875	
通信費	663,320	
事務用消耗品費	154,580	
印刷経費	1,311,658	
水道光熱費	217,318	
地代家賃	2,854,690	
謝金等	698,047	
役員行動費	1,162,522	
雑費	1,193,703	
当期事業費 計	47,913,695	
合計	47,913,695	
事業費 計		47,913,695
【管理費】		
給与	901,822	
アルバイト給料	380,976	
法定福利費	170,019	
福利厚生費	9,770	
旅費交通費	2,770,197	
会議費	30,643	
通信費	42,340	
事務用消耗品費	38,645	
印刷経費	255,437	
団体パンフレット印刷	205,286	
水道光熱費	41,394	
地代家賃	547,802	
顧問料	720,000	
租税公課	5,250	
諸会費	579,000	
退職給付引当金	550,000	
雑費	228,373	
管理費 計		7,476,954
経常収支差額		2,945,915
当期収支差額		2,945,915
前期繰越収支差額		0
次期繰越収支差額		2,945,915

平成26年度会計財産目録

平成27年3月31日現在

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

科目	金額(単位:円)		
《資産の部》			
【流動資産】			
現金	274,647		
普通預金			
三井住友銀行池袋東口支店(日常口座)	2,145,096		
三井住友銀行池袋東口支店(助成金口座)	757,296		
三井住友銀行池袋東口支店(メリデン口座)	952,249		
郵便貯金(日常口座)	32,227		
郵便振替(会費用口座)	32,100,030		
郵便振替(メリデン口座)	476,500		
普通預金計	36,463,398		
未収金			
団体賛助会費	2,436,300		
個人賛助会費	614,300		
その他(大会分担金等)	1,061,800		
未収金計	4,112,400		
前払費用(事務所家賃4月分)	274,541		
流動資産合計		41,124,986	
【固定資産】			
保証金(事務所保証金)	1,300,000		
固定資産合計		1,300,000	
資産の部 合計			42,424,986
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金			
日本財団事業・発送費用	504,689		
前受金			
平成27年度団体賛助会費	7,251,600		
平成27年度個人賛助会費	6,630,400		
平成27年度特別賛助会費	80,000		
預り金			
従業員預り金(給与源泉税)	33,185		
源泉税預り金(報酬等)	113,106		
流動負債合計		14,612,980	
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産	24,866,091		
当期正味財産増加額	2,945,915		
正味財産計		27,812,006	
負債・正味財産合計			42,424,986